

**都道府県剣道連盟の女子代表者による全国リモート連絡会議要項 資料1**  
 ～ 女子剣道の更なる充実と発展に向けて ～

## 1 目標及び趣旨

- ・全日本剣道連盟の女子委員会設置の趣旨を理解し、情報共有を図り今後の活動方針や内容を検討する。
- ・都道府県剣道連盟の女子委員会(それに準ずる組織)設置に関しての現状を共有し、課題解決を検討する。
- ・全日本剣道連盟の女子委員会と各都道府県剣道連盟の女子委員会(それに準ずる組織)における相互交流及び連携の強化に向けての体制作りを検討する。

2 参加者 各都道府県剣道連盟より女性代表者1名

3 開催日時 令和7年 2月 7日(金) 14:00 ～ 16:15

4 会議の方法 オンライン(ZOOM利用)方式

## 5 日程

配時	内 容
14:00 (10分)	1 役員挨拶 (1)網代忠宏会長 (2)佐藤厚子女子委員長 ・役員紹介 ・本日の会議内容説明を含めた挨拶
14:10 (5分)	2 全体会 (報告事項) (1)他地区から参加可能な女子稽古会・大会等について (2)各剣道連盟の女子委員会及びそれらに準ずる組織設立状況について
14:15 (45分)	3 分科会 (8班に分かれる) (1)発表(1人5分以内×6人) (約30分) ① 昨年度以降の活動の経過、あるいは新しい取り組みについて ② 幼少年普及や女子委員会活動等推進上の悩み・問題点について ③ その他  *①～③の全部ではなく、いくつか選択しての発表で結構です。  (2)分科会内での質疑応答 (約15分)  ◎ 分科会への入室(ルーム案内)は、事務局(ホスト)が案内します。 例「ルーム1に参加」と画面に表示されましたら、それを押すのみで入室します。 ◎ 退室については、時間で自動的に元の全体会場の部屋に戻ります。 操作はいりません。
15:00 (10分)	休憩
15:10 (50分)	4 全体会 (1)発表(5分程度×8班) (約40分) (2)質疑応答 (約10分)
16:00	5 閉会の挨拶 (1)役員挨拶

# 幼少年剣道の活性化を目指す女子四国ブロック講習会 主管県独自アンケートより

## 初心者の剣道体験で感じたこと

2025年1月25日(土)、26日(日)、全剣連主催による四国ブロック講習会が行われました。主管県である高知県から初心者や少年少女の子どもたち約90人が参加。四国から集まった女子講習生も2日間で延べ98人の参加があり、たいへん盛り上がった講習会となりました。全剣連の先生方のご指導のもと、子どもも大人も一緒に楽しく、剣道の学びを深めることができました。

- 新聞紙や面紐などを利用して竹刀を振らせると子どもが楽しみながらできる
- 子どもの笑い声が多くなった。子どもに合った指導法を考える必要がある
- 子どもを飽きさせず、楽しめる稽古内容を考えること
- 幼少年への指導は、楽しく分かりやすく段階的に説明していくことが大事
- 楽しさの中にも、きちんとマナーとルールを教えると子どもたちは、できる
- 笑顔が溢れる指導、楽しめる工夫を散りばめることが必要
- 指導方法が子どもに分かりやすく、簡潔だった



## 講習生の満足度 100%

- 世界レベルの選手たちとの出会い！
- 少年剣士たちに希望や夢を与えた！
- 剣道のモチベーションがアップ！
- 不安そうだった子どもが講習会終了後は、笑顔に！
- わかりやすい説明と細かな気遣い！
- 段階的指導で子どもたちへの指導が明確に！



## 指導法に関すること [受講生の気づき]

- 子どもは、練習が楽しければ集中して取り組んでいた
- 子ども目線でふれあうことに、楽しみとよろこびがある
- 女性指導者の分かりやすい説明が子どもたちの刺激になる
- 藤原先生のお話で、「楽しく遊びながら剣道に親しんで、少しずつ本質に迫っていくような指導を」というお言葉が胸に沁みだ
- 子どもに寄り添って支えていくことが大切だ
- 子どもたちは指導者を見ている



2025年2月作成

## 私が考える剣道の魅力

- 剣道は私の人生の宝だ
- 一瞬にすべてをかけて稽古に取り組めるところ
- 人間形成のために必要なもの
- 「惻隱の情」が学べることが武道
- 切磋琢磨し、お互いが成長できること
- 自己鍛錬に終わりが無いところ
- 毎回剣道をするたびに新たな課題がもて勉強になる
- 大人になって始めても礼儀作法が自然と身につくこと
- 心身共に鍛えられる